



平成 22 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 旭 テ ッ ク 株 式 会 社  
 代 表 者 名 代 表 執 行 役 社 長 入 交 昭 一 郎  
 (コード : 5606 東証第 1 部)  
 問 合 せ 先 経 理 部 長 小 谷 野 義 雄  
 (TEL. 0537-36-3103)

**業績予想の修正及び  
 特別損失（資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額）の計上に関するお知らせ**

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 20 日に公表しました業績予想を下記の通り修正するとともに、平成 23 年 3 月期第 1 四半期において特別損失（資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額）を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

(1) 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 30,700	百万円 70	百万円 △160	百万円 △800	円 銭 △2.17
今回修正予想 (B)	37,900	1,300	800	200	0.09
増減額 (B - A)	7,200	1,230	960	1,000	
増減率 (%)	23.5	-	-	-	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	23,483	△2,173	△2,459	△2,578	△6.23

(2) 個別業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 14,000	百万円 300	百万円 10	百万円 △400	円 銭 △1.25
今回修正予想 (B)	16,100	800	600	300	0.26
増減額 (B - A)	2,100	500	590	700	
増減率 (%)	15.0	166.7	-	-	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	11,205	△227	△477	△576	△1.65

2. 修正の理由

(1) 業績予想の修正理由

売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、アジアの新興国を中心とした急激な経済回復に伴い国内においては、トラック・産業建機部品の輸出需要が、またタイにおいては、自動車需

要が当初計画を大幅に上回る見通しとなったことにより、当初予想数値に比べて大幅に上回る見込みです。

なお、通期の業績予想については、第 2 四半期累計期間までの業績動向を反映しつつも、第 3 四半期以降の経済対策の終了による反動や金融不安・為替の円高リスクなど先行き不透明な要因もありますので、連結・個別とも通期の業績予想は修正していません。

(2) 特別損失（資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額）の計上

当第 1 四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第 18 号 平成 20 年 3 月 31 日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 21 号 平成 20 年 3 月 31 日）の適用に伴い、期首に係る影響額 667 百万円を特別損失として計上しております。

これは、当社グループ所有の建物について、将来の解体時に見込まれる吹付け材（「石綿障害予防規則」（平成 17 年 2 月 24 日）に基づく除去等の対策が必要な石綿を含有するもの）の除去費用や、賃貸事務所・社宅における賃貸契約終了後に見込まれる原状回復費用などであります。

なお、上記影響額は平成 22 年 5 月 20 日に公表しました業績予想に織り込み済みのため、業績予想の修正への影響はありません。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上